地域ごとのまちづくり計画(案)

2019.12.21 版

宝塚小学校区まちづくり協議会（愛称：宝小コミュニティ）

令和 2(2020)年　〇月策定

もくじ

【はじめに】 1
【現状と課題】 1
【地域（まち）の将来像】 2
【基本目標】 2
【具体的な取り組み】 3
福祉と健康と教育環境の充実 3
みんなで取り組む防災防犯 6
宝塚らしい環境景観づくり 9
【あとがき】 12

宝塚小学校区まちづくり協議会（愛称：宝小コミュニティ）まちづくり計画(案)

2020 年○月策定（○○年○月改定）2019. 11. 23 更新版

【はじめに】

宝塚小学校区まちづくり協議会（愛称：宝小コミュニティ）は平成９年 11 月 30 日に設立された。

当時のなんでも行政まかせから脱却し、住民は市民として他の団体とも横の連携をはかり、自治会が中核となって夫々が役割を持ち、行政とも協働し「市民参加のまちづくり」をすることとなった。

平成 16 年９月には「宝小コミュニティまちづくり計画策定部会」により、まちづくり計画案としてまとめられた。14 年が経過し状況が変化してきたので、此の度全市で一斉に「まちづくり計画の見直し」が進められることとなった。また平成 13 年 12 月の「宝塚市まちづくり基本条例」に加え、令和２年にはまちづくり協議会が仮称「宝塚市協働のまちづくり推進条例」により位置づけられ、今回の「まちづくり計画見直し」が第６次宝塚市総合計画に反映される予定である。

以上から宝塚小学校区まちづくり協議会（愛称：宝小コミュニティ）は、昨年請願により宝塚市では初めて設置された地域自治推進委員会が事務局となり、各自治会・まちづくり協議会各専門部の代表で作るワークショップにより、提案ととりまとめをしてきた。ワークショップメンバーの意見、小・中学校生徒のアンケート、校長、商店会のアンケートの意見、そして拡大ワークショップにより事業所・企業の意見もいただいて、最終的には住民の方々の意見もとりいれて、とりまとめることとした。

【現状と課題】

宝塚小学校区まちづくり協議会（愛称：宝小コミュニティ）の地域(まち)は、南は武庫川、北は中国道、東は清荒神参道と荒神川、西は西宮市界で区分される宝塚市の南部市街地である。

JR･阪急の宝塚駅を中心市街地として「商業文化ゾーン」、宝塚小学校･関西学院初等部･宝塚音楽学校の「教育ゾーン」、宝塚歌劇･文化創造館･手塚治虫記念館･文化芸術センター･ベガホール･中央図書館の「文化ゾーン」、そして川面街道周りの皇太神社･川面神社･宝泉寺･千吉神社の「歴史ゾーン」、そして古くからの住宅と丘陵部の住宅が広がる「住宅ゾーン」に分けられる。子供達の表現では、都会と田舎の混じった心地よい地域(まち)といわれている。

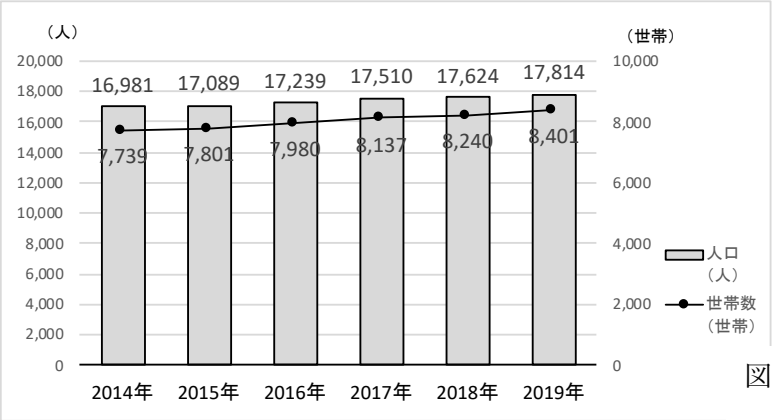

図 1

人口の推移(図1)を見てみると、一般には減少すると言う中で微増である。高齢化率は当然上昇する(図2)が宝塚市全体平均よりは低い。しかし要介護・要支援認定率が20%を超えているのは気になる。今後は何も手を打たないと減少していくことが想定されるので、経済・活性化の原点である人口は何とかして増加させたい。コーホート変化法では微増である(図3)。

自治会加入率が78．4%と全市平均59．3%よりはるかに高く、自治会との連携は重要と言える。公共施設・福祉施設・商業施設は多いが、若者が地域で学べる専門学校・大学が無い。観光施設も歌劇以外目を見張るものが無い。事業所数も少なく5年間で減少しているのも気になる。歴史・文化の面では794年創建の川面神社をはじめ、皇太神社、宝泉寺、千吉明神の古い仏閣があり、それらにまつわる3基のだんじりや1基のお神輿があり、だんじり祭り、千吉踊りなど、コミュニティの原点であるお祭りもしっかり保存していく必要がある。福祉面では、高齢者の健康と子供達の成長に寄り添える環境と教育でしっかりと支え、防災・防犯も強化し、ずっと住みたいと思える安全安心な地域(まち)にしていきたい。

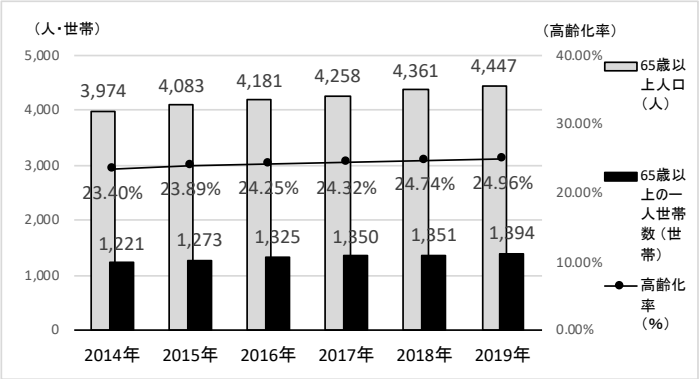

図2

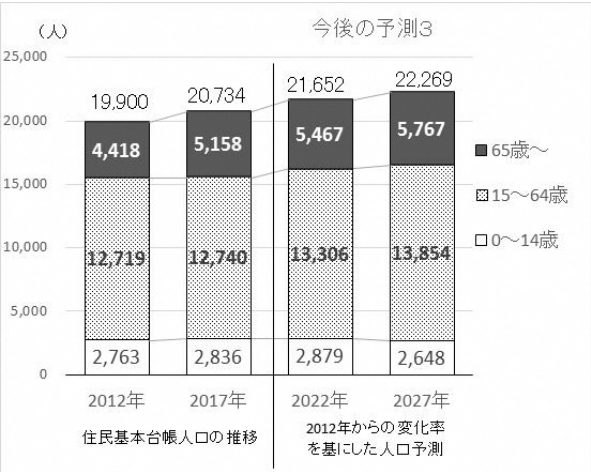

図3

【地域(まち)の将来像】

・人が集まり、美しく、楽しい、魅力的なまちづくり
・コミュニケーションのとれる安全安心なまちづくり

【基本目標】

●福祉と健康と教育環境の充実
①世代を超えて情報共有でき交流する場のあるまち
②自律し、自分の価値観を持った子どもを育むまち
③障碍(がい)者や外国人などすべての人の人権を尊重し、みんなが福祉を支えるまち
④救急車の利用が日本一少ないまち

●みんなで取り組む防災防犯
①防災-地域のネットワークづくりと情報の共有
②防犯-顔の見えるコミュニケーションがあるまち
③事故防止-みんなで気づかいできるまち

●宝塚らしい環境景観づくり
①住環境と経済環境がほどよく調和のとれたまち
②地域の宝物をみんなで共有し、情報発信のできるまち

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
福祉と健康と教育環境の充実															
①世代を超えて情報共有でき交流する場のあるまち	1.	地域の各組織の横のつながりを充実する （コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継			○		・各自治会は民生委員や協力委員としっかり連携する ・民生委員、自治会、地域包括センター、社協、企業、宝塚小学校区まちづくり協議会、市が連携する
	2.	地域情報を集約する仕組みをつくる ・地域内の様々な情報が宝塚小学校区まちづくり協議会に集まるようにする ・支援が必要な人の課題は、民生委員・児童委員や地域包括を中心に把握していく ・ネットワーク会議を開催する （コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継		○			コミュニティで話し合うことが大事。課題を話し合って解決していくのが自治 ・転入者がいても地域で把握できないので情報が届けられない。アンテナを張るしかない ・気になることや課題を誰に話せばいいのかわかりやすくする ・自治会で解決できない課題は宝塚小学校区まちづくり協議会で話し合う ・空き家情報も把握

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
①世代を超えて情報共有でき交流する場のあるまち	3.	宝塚小学校区まちづくり協議会の広報体制をさらに充実する ・宝塚小学校区まちづくり協議会の活動だけでなく、福祉の仕組みや、各種制度などをわかりやすく伝える ・掲示板を充実する ・観光情報や防災情報、地域情報を伝えるまちかど案内版をつくる ・2 次元バーコードなど IT を活用する。ネットユーザー以外のために電話番号も記載する ・サロンなどの場での口コミ、広報誌の他チラシやパンフも活用する （コミュニティ）		○	→	→	→	→	継		○			日本語以外の多言語表示も検討する 銀行、JA、コンビニ、郵便局等の店舗や事業所等にも広報の協力をよびかける 防災関係は川面地区自主防災会と連携する
	4.	地域で暮らす多様な人が交流できる機会や場をつくる ・災害等緊急時や親の帰宅までの時間、宿題をするのを見守るような小さな居場所をつくる ・高齢者が生きがいをもって活躍できる場をつくる ・仕事を持つ人が参加しやすい場をつくる ・その他、目的を明確にして必要な人が集まれる場をつくる （コミュニティ、社協）	○		→	→	→	→	→	継			○		新旧住民 多世代 留学生や外国人 引きこもり 乳幼児のいる世帯 男性の料理教室 その他

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
②自律し、自分の価値観を持った子どもを育むまち	5.	学校運営協議会（コミュニティスクール）を充実させ、地域で学校を支える （小中学校）		○	→	→	→	→	→	継			○		・中高生の活躍の場を検討する ・いじめ虐待の撲滅 ・幼稚園から中学まで地域での育ちを見守る ・地域の人が中学の部活動の指導者となり部活動を支援する
	6.	子どもたちが自分で料理できるような子ども教室を開催する。食育も行う（コミュニティ）		○		→	→	→	→	継		○			御殿山会館の調理室を活用する
	7.	活躍する人たちを、日頃からまちぐるみで応援する ・横断幕をかけてメッセージ ・バスを仕立てて応援する （コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継			○		スポーツ（アスリート）、文化芸術活動など、宝塚で活躍する人を応援する。まちおこしになる。
③障碍(がい)者や外国人など、すべての人の人権を尊重しみんなが福祉を支えるまち	8.	認知症サポーターを増員し、地域とのつながりを深める（コミュニティ、地域包括支援センター）		○	→	→	→	→	→	継			○		
	9.	地域行事に参加し、お互いさまの関係づくりを進める(コミュニティ)		○	→	→	→	→	→	継		○			挨拶や声かけをする 企業の参加を呼びかける
	10.	1人ぐらしの高齢者や障碍(がい)者がいる家を地域で把握する（自治会・民生委員）	○		→	→	→	→	→	継		○			社会福祉協議会や地域包括と連携する
	11.	障碍(がい)を理解し、交流する場をつくる（コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継			○		車いす体験の実施

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	12.	コミュニティバスの運行など、交通弱者の便を確保する方策を探る（コミュニティ）		○		→	→	→	→	継			○		コミュニティすみれと連携
④救急車の利用が日本一少ないまち	13.	ラジオ体操や百歳体操、健康講座などを開催し、健康作りをすすめる（自治会、コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継		○			病院と連携 かかりつけ医を持つ
	14.	救命救急講習会を開催する（自治会、川面地区自主防災会）		○	→	→	→	→	→	継			○		
	15.	保護者向けの自転車マナーの講習会を開催する。参加してもらいやすい工夫をする（コミュニティ、学校、幼稚園）		○	→	→	→	→	→	継			○		
みんなで取り組む防災防犯															
①防災-地域のネットワークづくりと情報の共有	16.	川面地区防災計画を確実に実行していく。防災訓練に多数参加できるように工夫する（川面地区自主防災会、コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継		○			防災スピーカーも活用 コミュニティすみれと連携 企業等の協力を検討
	17.	川面地区自主防災会のポータルサイトを周知し、広く情報提供する（川面地区自主防災会、コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継	○				
	18.	緊急時の連絡を電話のみに頼らない、双方向の連絡体制づくり（川面地区自主防災会、コミュニティ）		○		→	→	→	→	継	○				LINE等の利用者拡大

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	19.	5～10軒の班別に避難スイッチを設定。これに基づき避難行動をする（川面地区自主防災会、コミュニティ、自治会）		○		→	→	→	→	継		○			自主防災会の研修会に参加する。防災カメラ（川、水面）を主に避難スイッチの箇所に設置し活用する
	20.	各家庭や職場等で避難計画を話し合う（自治会、川面地区自主防災会、コミュニティ）		○		→	→	→	→	継	○				避難ルートや避難場所、非常持ち出し品など
	21.	街角や公園に防災情報等を掲示し、２次元バーコードなどで情報が取れるようにする（川面地区自主防災会、コミュニティ、自治会）		○			→	→	→	継			○		避難所・避難場所等の掲示板の拡充（観光客、帰宅困難者、外国人等にも有効）
	22.	新規入居者及び自治会未加入者への情報提供について自治会で仕組みづくりを検討する（自治会）		○		→	→	→	→	継	○				
	23.	だんじり保存会が主になって将来の防災会の担い手になる青年団の募集を強化する（だんじり保存会、川面地区自主防災会、コミュニティ）		○		→	→	→	→	継	○				
	24.	御殿山中学校南側の竹藪に緊急時避難通路をつくる（学校、川面地区自主防災会）		○		→	→	→	→	継			○		
①防災-地域のネットワークづくりと情報の共有	25.	災害時要援護者支援制度など、地域で支え合う仕組みを充実する（民生委員、自治会、川面地区自主防災会、コミュニティ、社協）	○			→	→	→	→	継			○		

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	26.	地域で子どもを見守る体制づくり ・登下校の見守り体制を充実する ・わんわんパトロールを充実する ・通学路の点検会議を充実する （小学校、コミュニティ）	○							継		○			わんわんパトロールとは、犬の散歩の際の見守り活動
②防犯-顔の見えるコミュニケーションがあるまち	27.	防犯カメラの拡充 現在設定されている場所を防災マップに掲載。今後は通学路の優先設置を要望する（コミュニティ）		○						継			○		企業にも防犯カメラ設置の協力を呼びかける
	28.	地域の安全安心確保の為に各家の門燈灯火を推進する （各家、自治会）		○						継	○				
	29.	県、市の安心メールの登録を勧める（コミュニティ）	○							継	○				
	30.	各家庭に1台の防災受信機設置に向け働きかける（コミュニティ、川面地区自主防災会）		○						継			○		市の防災アプリの利用を推進する
	31.	阪急宝塚線北側地域に交番を設置に向け働きかける（コミュニティ）		○									○		
③事故防止-みんなで気づかいできるまち	32.	減災のために各家庭でのブロック塀のチェックや危険箇所の工事を進める（自治会、コミュニティ）		○							○				
	33.	減災のために市民と行政で危険箇所をあらいだし、工事する（川面地区自主防災会）		○						継			○		

基本目標		具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	34.	運転者への通学路の周知徹底を図り、注意喚起を強化する（コミュニティ）	○		→	→	→	→	→	継			○		すみれ、売布から通学路を通る車があるので協力を求める
	35.	自転車ゾーンの整備を要望する（コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継			○		
	36.	見通しの悪い道路、交通量の多い道路における歩道白線の整備、ミラー設置など危険箇所を洗い出して行政へ対策を要望する（自治会）	○		→	→	→	→	→	継			○		バリアフリー化の充実
宝塚らしい環境景観づくり															
①住環境と経済環境がほどよく調和のとれたまち	37.	商業ゾーンと教育文化ゾーンと経済特区を設け、住み続けられるまちづくりを進める 教育文化ゾーンには大学等の誘致を働きかける（コミュニティ）		○		→	→	→	→	継			○		宝塚は文化都市というが、歌劇やお寺しかない。教育や芸術文化のイメージ作りのため、宝塚の顔として宝小のまちづくりを進める。めざすのは、宝塚の発展のため。 経済特区…経済的発展のために、法的・行政的な特権を与えられている地域
	38.	商店会の活性化に向けた、住民との意見交換の実施（コミュニティ）		○	→	→	→	→					○		清荒神参道の店舗やソリオ、ソリオ北商店、花のみち商店会をメンバーとして地産地消、花のみちのイルミネーションや各種コミュニティイベントを企画する

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
①住環境と経済環境がほどよく調和のとれたまち	39.	ＪＲ宝塚駅北側駐輪場の設置を検討する（宝塚駅周辺活性化推進協議会、コミュニティ）		○									○		
	40.	武庫川と河川敷の有効利用を考え、市、県に働きかける（宝塚駅周辺活性化推進協議会、コミュニティ）		○						継			○		ジョギングコース、散歩コース、ボート遊びや河川敷公園など
	41.	宝塚歌劇場前交差点および宝塚駅前ロータリーの渋滞緩和を検討する（コミュニティ、宝塚駅周辺活性化推進協議会）		○						継			○		JRの地下化を働きかける
	42.	市民ホールの建設に向けて継続的に運動する。下の池の有効利用も考える（コミュニティ、川面財産区管理会）		○						継	○				
	43.	谷池の有効活用を検討する（コミュニティ、川面財産区管理会）		○						継			○		公園、スーパーマーケット、幼稚園移転など
	44.	図書館の充実と回収の環境整備（コミュニティ）		○									○		たとえばJR駅で回収
	45.	地域美化に取組む（タバコ・あき缶のポイ捨て・犬猫の糞） ①宝塚小学校区まちづくり協議会主体の清掃 ②通学路の全面禁煙 （コミュニティ）		○						継			○		

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	46.	運動場の開放、あそび場づくりをすすめる（学校、育友会、コミュニティ）		○									○		
	47.	ベガホールなど公共施設の利活用を進める（コミュニティ）		○									○		
	48.	エコ率が高い町を目指し、各家庭のエコ推進を行う（コミュニティ、自治会）		○						継			○		
②地域の宝物をみんなで共有し、情報発信のできるまち	49.	情報発信を増やす ・雑誌にとりあげてもらう ・フリーペーパーにのせる ・SNSで発信する ・散策ルートマップをつくる （コミュニティ）		○						継			○		中山寺、清荒神、有馬温泉へのルート、巡礼街道、温泉、歌劇、だんじり、武庫川などのブランド力をいかす発信をする宝塚市国際観光協会、コミュニティ売布と連携
	50.	宝塚駅に観光案内所と物産館を作る（宝塚駅周辺活性化協議会）		○						継			○		
	51.	手塚治虫が昆虫採集をした千吉大明神など手塚治虫に特化した場所の紹介をする（コミュニティ）		○						継	○				手塚治虫を知らない人がいるのでもっとPRする。
	52.	だんじり文化を広げ、だんじり祭にたくさんの住民が気軽に参加できるようにする 千吉踊りを地域の踊りとして広く知ってもらう（コミュニティ）		○						継	○				だんじり保存会、千吉大明神保存会、千吉音頭子ども会と連携する
	53.	花火大会の復活。実現可能なやり方について協議する（コミュニティ）		○									○		日本一の仕掛け花火大会等（工夫と努力で出来るはず）

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）						役割分担（協働の領域）				備考
					20年	第６次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
						21年	22年	23年	24年	25年					
	54.	地域に伝わる民話を集めて絵本を作り、広める（コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継	○				地域の人が地域の歴史を知る機会をつくる
	55.	宝小地域で映画、テレビ、アニメなどのロケ地候補となる場所しを探し、提案する（コミュニティ）		○			→	→	→	継			○		地域住民の理解が必要（交通規制など）
	56.	歴史博物館をつくるよう働きかける（コミュニティ）		○	→	→	→	→	→	継			○		埋もれている歴史資料等を発掘して教育に役立てる

【あとがき】

各自治会とまちづくり協議会各部の代表からなるワークショップで、まちづくり計画見直し案として提案書をまとめてきました。さらに、小学校６年生・中学２年生の意見、校長・園長の意見、商店会の意見をアンケートとしていただき、企業・団体の方々からは拡大ワークショップを開催し、ご出席の中で意見をいただき提案書に反映いたしました。熱心に取り組んで熱き想いを語っていただき、心から感謝いたします。また住民の皆様方のご意見もいただき、まとめることが出来ました。

今後は、宝塚市第６次総合計画に将来像と基本目標が掲載されることとなり、住民と行政が協働の精神でもって、実現に向け取り組んでいく必要があります。皆様のご協力ご支援を切にお願いいたします。

【資料】